

茗溪学園 中学校・高等学校

“Study Skills を身につけさせる教育” その3

広報部長 田代 淳一

「調査方法」

茗溪学園が重視している Study Skills のもう一つは調査方法 (Investigating skill) です。何か疑問点や問題点が生じた際に、この解決や意思決定のために様々なレベルの investigation が必要ですが、そのための skill です。茗溪学園ではこの skill を5つのカテゴリーに分類して指導しています。「文献調査の方法」「Web 調査の方法」「訪問調査の方法」「フィールドワークの方法」「アンケート調査の方法」です。

文献調査の方法

「文献調査の方法」では、文献 (本) をどのように調べればいいのかという skill を学ばせます。

まず自分 (または自分たちのグループ) が決めたテーマに関する上級生 (卒業生) の先行研究を検索させます。そして、彼 (彼女) が参考にした文献が何かを把握させ、そこからどんな情報を得ていたかを読み取らせます。必要に応じてその文献を実際に入手し、その情報を確認します。その情報で不足の場合は、自分 (自分たちのグループ) のテーマに関する Key Word を3~5挙げ、それらに関する書籍を探させます。幸い、本校は教育方針として図書予算を潤沢にとっており (年間1200万円)、生徒の希望する図書はすべて購入しますので、調査に必要な本を購入することができるのです。入手した文献は“章”ごとに要点を数行にまとめさせながら読み込ませます。必要な箇所はカードにしたり抜き書きさせ、作成するレポートの素材として蓄積させます。



第二PC室での授業

Web 調査の方法

「Web 調査の方法」では、検索エンジンを用いた検索方法は中3の情報 (技術家庭科) で学びますが、大抵の生徒は小学校で身に着けています。そこで、この skill の学習で大切になってくるのは“情報の質”と“引用・参考のしかた”です。

文献調査と違って、この情報の発信者 (著者) の立場・資格・専門性が不明確な場合があります。その情報自体もオリジナルなのか引用 (または盗用) なのかを見分けなければならない場合があります。茗溪学園の調査 skill に関する教科内外の取り組みでも、比較的低学年の場合はこの点にそれほどこだわらずに指導します。(もちろん、コピーアンドペーストは禁止です。)

中学2年の地理・歴史のレポート、筑波山キャンプ時の自然総合巡検リポート、中学3年の国内研修班別テーマ学習事前リポートなどです。



中学理科巡検

しかし、高校2年次の個人課題研究ではリポートではなく論文の形式をとらせます。完成した論文はお世話になった研究者の方々に恵贈しますので、しっかり対応させます。Web上の情報は、それが発信者のオリジナル情報だった場合は発信者に質問という形で連絡を取らせ、確認させます。質問形式なので失礼にはなりません。(もちろん、質問の仕方、文面は指導担当が確認します。) オリジナルでなかった場合は引用元が記載されてある情報を信用させ、その引用元をたどって確認させます。このプロセスの体験が自分が論文を書く段階になった際に意識する“情報のオリジナル性・著作権”に有効に作用するのです。